

第3章

緑の基本方針

- 1 基本的な考え方
- 2 将来像と目標
- 3 将来構造

「未来の光市」絵画コンクール
まちづくり市民協議会会長賞



「自然との共存を目指す」

光井中学校 1年 河村 祐一郎 さん

1 基本的な考え方

本計画は、「都市計画マスタープラン」を上位に位置付ける計画であり、緑地の保全や緑化の推進など緑に関する取組みは、都市づくりを計画的かつ効果的に進める上で重要な施策の一つです。

このため、「都市計画マスタープラン」で掲げた都市づくりの目標も踏まえ、緑のまちづくりを進めます。

都市づくりの目標

- 地域集約型都市づくり
- 環境共生型都市づくり
- 活力創出の都市づくり
- 安全・安心の都市づくり
- 良好な景観の都市づくり

2 将来像と目標

(1) 将来像

「都市計画マスタープラン」に掲げた将来都市像「人の活力と豊かな自然が調和した 多核連携によるコンパクトな都市」の実現につながる緑のまちづくりの将来像を次のように定めます。

自然を守り 人とふれあう 水と緑がきらめく都市

緑のまちづくりを通じて、市民生活に多くの恵みを与えてくれる自然への感謝の心を育むとともに、自然と人間との心豊かなふれあいや自然を介した人間同士の交流を促進し、自然に対する理解と愛情にあふれる地域社会の実現を目指します。

さらに、山・川・海からなる、水と緑豊かな自然と人の営みが織り成す都市環境を大切に守り、多くの緑で彩られた魅力あふれる都市を創造します。

(2) 目標

将来像の実現を目指すため、緑のまちづくりの目標を次のように設定します。

① 緑を守るまちづくり

～いのちを育み、まちをやさしく包む緑を守ります～

本市は、瀬戸内海国立公園の一角に「森林浴の森日本100選」や「日本の白砂青松100選」などに選定されている室積・虹ヶ浜海岸、県立自然公園に指定されている幽玄な石城山、水鳥が羽を休める母なる川・島田川など、豊かな景観と自然環境に恵まれています。これら先人が守り続けてきたかけがえない財産を次世代へ引き継いでいくため、平成18年に「自然敬愛都市宣言」を採択し、山・川・海の自然環境を大切にすることを市民と誓い合いました。この宣言の理念に沿って、はかり知れない自然の恵みに感謝し、大切な緑を守り続ける都市を目指します。

- 都市の骨格となる自然の緑を保全します
- 市民主体の美化活動の取組みにより、ふるさとの自然を守ります

② 緑を創るまちづくり

～みんなで力を合わせ、憩い、楽しむ緑を創ります～

公園などの緑地や農地は、市民が充実した余暇を過ごす場や生産の場であるだけでなく、避難施設としての役割や、環境保全や防災などの機能も有しています。また、市街地のポケットパークや街路樹、花壇などの緑は、まちに彩りを与え、都市に暮らす市民に癒しをもたらします。こうしたことから、地域の特性に応じた身近な施設等の整備充実や農地の適切な保全を図るとともに、市民や事業者等との協働による身近な緑化活動を推進するなど、まちぐるみで豊かな緑を育み、健康で文化的な都市を目指します。

- 公共施設や民有地の緑化を促進し、緑豊かな町並みをつくります
- 市民や事業者等と協働で、民有地の緑の保全・創出活動に取り組みます
- 緑を楽しむための施策を進めます

③ 緑を活かすまちづくり

～身近にふれあい、暮らしとつながる緑を活かします～

本市が有する室積・虹ヶ浜海岸や冠山総合公園、伊藤公記念公園などの緑は、潤いや安らぎの場であると同時に、人々の様々な活動を促し、まちの活性化やにぎわいの原動力となる大切な場でもあります。こうしたことから、緑を通じて、多くの交流活動を育むことができるよう、個性ある自然の緑や歴史の緑と親しくふれあえる環境づくりを進めるとともに、環境の保全・保護活動と呼び水にコミュニティの一体感の醸成を図るなど、既存の機能やストックの効果的な活用により、多様な緑から価値や活力を生み出す都市の実現を目指します。

- 多様なニーズに対応した公園施設の充実に努めます
- 公園・緑地の多面的活用を図ります
- 既存のストックを有効に活用します



3 将来構造

(1) 将来構造の考え方

多くの緑に彩られた魅力あふれる都市を創造するため、総合公園や運動公園などの「拠点」、これらを連絡する機能を担う「軸」、緑地の保全や緑化の推進などを図る「ゾーン」の3つの要素から緑のまちづくりのあるべき姿を示します。

(2) 緑の将来構造

① 拠点

○ 緑の拠点

本市を代表する緑が集積する「冠山総合公園」、「伊藤公記念公園」、「大蔵池公園」を位置付け、広域的な利用や多世代にわたるニーズに応じた整備・充実や保全を図ります。

○ スポーツ・レクリエーション拠点

「光スポーツ公園」と「大和総合運動公園」を位置付け、健全な心身の発達や豊かな心の醸成など、市民の健康づくりや多様な余暇活動の拠点として充実を図ります。

② 軸

○ 彩りのみち

市街地の幹線道路や拠点に接続する道路を位置付け、街路樹や花壇、沿線の自然の緑により、彩りとにぎわいを創出します。

○ 森の環境軸

茶臼山から虎ヶ岳にかけての山並みや千坊・大峰山、天登山など市の外縁部を取り巻く山地や丘陵地を位置付け、保全を図ります。

○ 水辺の環境軸

室積・虹ヶ浜海岸に代表される海岸沿いや島田川、田布施川などを位置付け、保全を図るとともに、水辺を活かした憩いの場を創出します。

③ ゾーン

○ 自然環境保全ゾーン

優れた自然環境に恵まれた地域を位置付け、保全・保護に努めます。

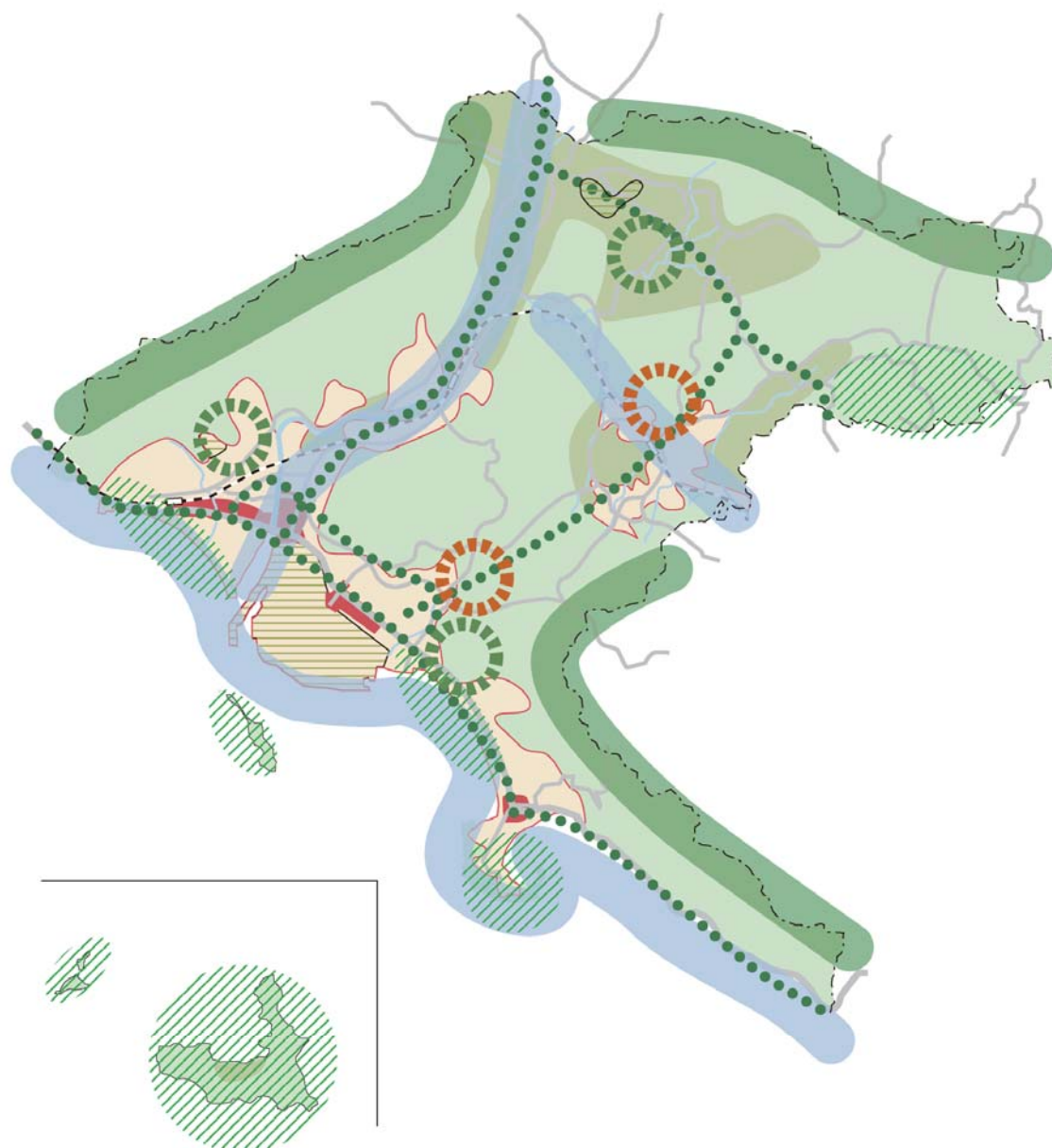
○ 森林・丘陵ゾーン

山林や緑地などに囲まれた地域を位置付け、必要な保全を図るとともに、自然景観としての多面的な価値を創出します。

○ 田園ゾーン

農業の振興を図るための地域を位置付け、農地を適切に維持するとともに、農業生産基盤の整備を促進します。

■ 将来構造図



	緑の拠点		スポーツ・レクリエーション拠点		
	彩りのみち		森の環境軸		水辺の環境軸
	田園ゾーン		森林・丘陵ゾーン		自然環境保全ゾーン
	住居ゾーン		商業・業務ゾーン		工業ゾーン

まちづくり・フォトコレクション「未来に伝えたい風景」
一般の部 入賞



「春爛漫」（撮影場所：島田川河川公園）

有金ヒロシさん